

地域とともにある学校 ~コミュニティ・スクール~

都市化の進行や価値観の多様化等により、昔は当たり前だった「地域で子どもを育てる」という考え方が希薄化しているのではないかと感じています。

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化しており、子どもたちの健やかな成長のためには、学校はもちろん家庭や地域社会も総掛かりで連携していく体制が必要です。

こういった課題に対応するために、「コミュニティ・スクール」という仕組みがあります。地域住民、保護者、教職員などから構成される「学校運営協議会」を設置した学校のことで、学校運営について、教育委員会や校長先生に意見を述べるといった役割を担います。

上尾市では、本年 4 月から、上尾小学校、東町小学校、上尾中学校の 3 校がコミュニティ・スクールとなりました。

早速4月に「第1回学校運営協議会」が開催され、参加した委員からは、「子どもたちの夢を広げられるような活動をしていきたいですね」などといった様々な意見が出されたと聞いています。

学校教育において、地域との連携・協働体制が継続的に確立されていくことはとても重要なことだと思います。今後、市内の全小中学校にも、この取り組みが広がっていくことを期待しています。



第1回上尾中学校運営協議会



上尾中学校を訪問しました

梅島山 稔